

東村山市 商業振興プラン

ダイジェスト版

平成 28 年 12 月

東村山市商工会

平成 28 年度商業振興プラン策定調査検討委員会

1. 商業振興プランの概要

(1) 計画の期間



(2) 委員会での審査経過

開催回	開催日時	主な検討事項
第1回	平成28年4月20日(水)	<ul style="list-style-type: none">委員の委嘱商業振興プラン策定に向けた業者選定商業振興プラン策定に向けた意見交換
第2回	平成28年6月13日(月)	<ul style="list-style-type: none">消費者調査、商業調査結果の要点再確認ヒアリング結果等について意見交換・ワークショップ
第3回	平成28年9月6日(火)	<ul style="list-style-type: none">商業振興プランの素案に対する意見交換
第4回	平成28年10月31日(月)	<ul style="list-style-type: none">商業振興プランの最終稿に対する意見交換

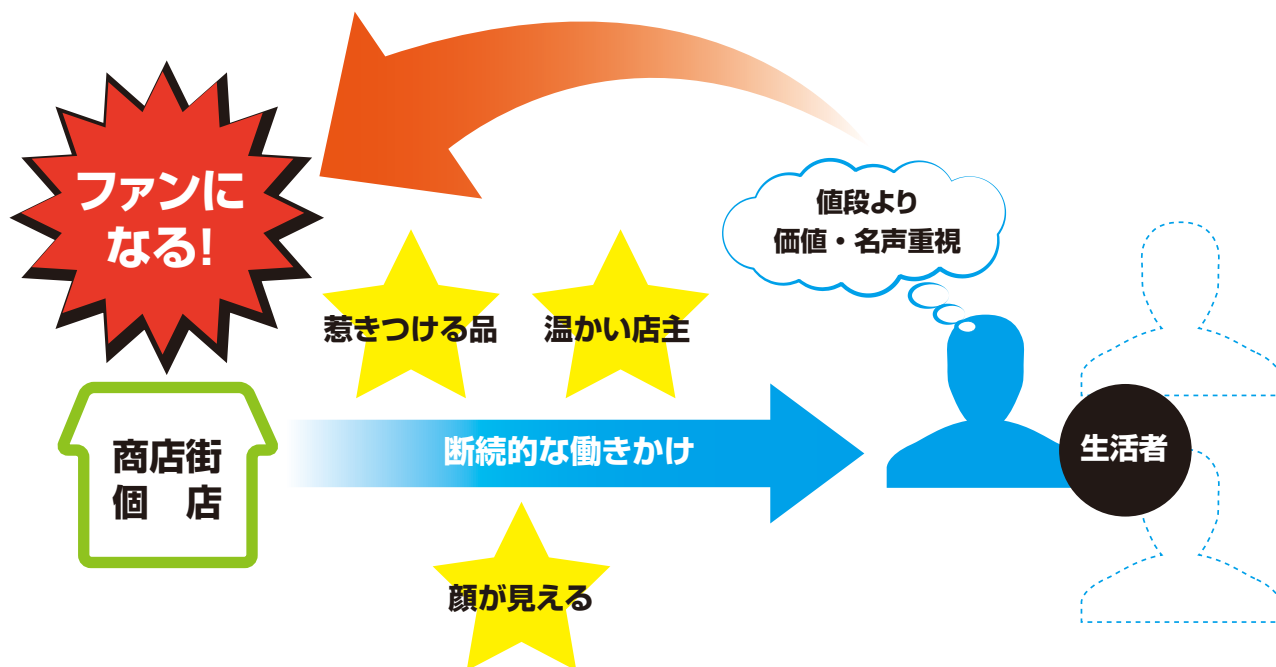
2. 商業環境の状況



商業環境は変化してきている
(的確な対応が個店の生き残り・発展につながる)

3. 過去の調査結果について

(1) 平成26年度 買い物に関する行動・意識調査結果



商店街・個店が生活者の困りごとを解決するための支えの一つとなる

地域での役割貢献の拡大

(2) 平成27年度 商業者調査結果



4. 商業関連分野に携わる方へのヒアリング結果

(1) ヒアリング日程及び対象者

- ・ 5月 9日 (月) 東村山市長
- ・ 5月31日 (火) 東村山市商工会長、地域大型店舗、農業関係者
- ・ 6月 6日 (月) 福祉関係者
- ・ 6月 7日 (火) 金融機関

(2) ヒアリング結果 (まとめ)

地域課題を解決するためのコミュニティビジネス視点を持つ

集いの拠点活用による生活者との接点づくりをする

「ちよこつと」の積み重ねによる、実現可能な行動をとる

集客力を有する店舗等との連携による相乗効果を図る

業種を越えた団体連携の推進

5. 今後における本市の商業振興に向けた方向性

- 中心核、生活核それぞれの特性を活かした個店づくり
- 商店会機能の再確認と取り組み推進
- 商店会を越えた連合体で
- 個店、商店会が自ら活用できる資源を最大限に活かす
- 地域課題を解決する

6. 基本コンセプト

生活者に寄り添って、もう一歩前進しよう！
～みんなの東村山ライフを「たのしく」するために～



■基本コンセプトの考え方

- ・ 東村山をたのしむ人が増えれば、このまちはもっとたのしくなる→たのしみむらやま
- ・ 生活者が地域で買物を「楽しむ」ことで、生活者と個店は共に「楽しい」気分を共有することができる
- ・ 個店単独のみならず、周りの個店と連携しながら、生活者との心理的距離を縮め、このまちの良さを共有する

7. 本市の商業振興に係る施策大綱

地域課題解決（コミュニティビジネス）の展開

買い物弱者に対する 買い物サポート・ 安否確認支援	高齢者福祉施設への 出張商店街事業の実施	介助の仕方、 傾聴の仕方等のマスター
子育て団体・サークル・ 施設等での 出前講座の開催	地域のお困りごと リサーチ	コミュニティビジネスの 研究と実践の推進

生活者との接点創出

集客力のある個店を軸とした 「マルシェ」イベントの開催	大型店との共存共栄	まちゼミ、個店の魅力発見 ツアーの実施
子供向けイベントの開催	個店応援隊の結成と 活動推進	農業機関・農業者との タイアップ
観光イベント開催時に おける個店に向けた スペース解放	観光分野との コラボレーションマップの 展開	情報技術を活用した 顧客創出、 効率性の追求

商業活性化を下支えする環境づくり

業種を超えた団体間の連携	商業人財の育成	商店会機能の再確認と 取り組み推進
市内創業希望者と 商店会とのマッチング	商店会開催のイベント についての見直しと改善	地域全体で 取り組む事業の推進
既存振興事業の継続発展	個店の魅力を後押しする ハード整備の推進	都・国が講じる施策の 活用推進